

議会傍聴をして

暁山名捨身

七月、高校卒業以来四十五年ぶりに帰郷して川南に住むことになりましたが、まさに浦島太郎の心境です。

今、川南町がいかなる課題を抱え、今後どんな方向に進もうとしているのかを知るにはいい機会と思って、九月定例議会の一般質問を二日間にわたって傍聴しました。

良きにつけ悪しきにつけ、国会質問のミニ版を見ているようでした。よく勉強して資料を整理し、行政側を追求する議員もおられました。質問する側も回答する側も表層的なやり取りに終っている感があります。国政とは違って地方行政ですから、形式にとらわれず、対立するだけでなく、相互にもっと住民サイドに立った問題解決の姿勢があればと思います。初日は五十名ほどの傍聴者にホーと思いました。翌日は十名程度に減っていました。私たちは、とかく他人を批判したくなりますが、所詮は自分達が一票を投じて選んだ町長や議員です。批判や無関心、あきらめだけでは町は良くなりません。できるだけ議会等に足を運んで、そこでいかなる議論が行われているかを自分の目で確かめることが、川南町を発展させる原点、たとの感を強くしました。



カメラレポート



バリアフリー化された川南小学校



川南湿原の遊歩道



バリアフリー化された東小学校



宗麟原にトイレ

編集後記

この秋は、台風の前線の様子に西・北・東に向きを変え自然災害に悩まされている昨今を見るように国政状況も同様に、方向が全く分かりません。

又私達町民をとりまく、社会生活も燃料高騰に始まる物価高に悩まされる中、町議会も町財政の苦しい状況において、無駄のないお金の使い道を議論し、更には町民へのサービスと行財政改革の接点を求めています。今後尚一層議会傍聴への参加、提言等を頂きたいと思えます。

- 編集委員長 黒木 則人
- 副委員長 米山 知子
- 委員 竹本 知子
- 委員 藤本 修
- 委員 内藤 逸子
- 委員 長野 義子
- 委員 林田 幸雄

編集・発行
宮崎県川南町議会

〒889-1301
宮崎県児湯郡川南町大字川南13680-1
TEL (0983) 27-8017

発行者／川南町議会 議長
編集者／議会広報編集委員会
印刷所／ヤマキ印刷